事務	333102	水質管	空理事業								
事業	事業区分)	実施計画事業		施策体系	33	3110	安全で	良質な水の供給		
区分	必要性		非常に高い		効率性		非常に	高い			
	方向性(第-	-次)	現行どおり	改善、	効率化の内	容			方向性(第二次)		
対象	水道水										
事	務事業目的								いて、水質基準に適合して を実施し、安全で良質な水		
事	務事業内容	源とし	ての適否や浄水	K処理、	配水過程の	水質等	の変化・	状況を排	での浄水の水質検査を実施 巴握し、常に安全な水を給え 作業を実施します。		
3	実施形態	直営・	委託								
	IS II-S I	水質基準項目の基準値の適合率									
J.	龙果指標	令和元	元年度実績:	100%	, 0						
ì	舌動指標	(活動	指標1)毎日(年 指標2)毎月(年 日本度実績:	₹12回)検査の実施						
					事業コス	スト計算	<u> </u>				
事務	事業費予算額		14	,637,0	062 円	R1	事務分	担表に。	はる「事務に係る人数」	1.60	人
事務事	事業費決算額				944 円	R2	事務分	担表に。	よる「事務に係る人数」	1.89	人
予定值	直					確定	€値			•	
直接事	事業費		14	,637,0	062 円	直接	事業費	ł	13,1	68,944	円
人件習	ŧ		13,187,846 円 人件費 15,283						83,304	円	
総額		27,824,908 円 総額 28,452,248								円	
	見直し実績										
事	内部要因 外部要因		自己水源により、安全で良質					ができる	体制が整っている。		
務		水質検査計画に基づき実施しており、水質基準に適合していることを確認するために必要である。									
事	必要性										
業	効率性	事業費	遺は検査委託#	斗と職員	人件費であり	つ、コスト	等の削	減は難し	·//\。		
評		夕揺↗	ル哲坛本の質	上田を甘	にった治った。	百の流	かが田	的炒多。	k処理を行い、適正な水質	告田を仁	
価	方向性	台俚()	小小貝快且U/桁	大化学	sic、小坦小湖	水ツ迎亡	パツ禾	リソは、ヂク	NXが主で1167、阿正な小員	日 <i>注</i> で1丁	J ₀

		2 3.7 2 .		川南 工厂小坦	品 八色池改林							
事務	333105	浄配水施設更新事業	Ě									
事業	事業区分	実施計画事業	施策体系	333120 安定的	的な給水体制の確立							
云丛	必要性	高い	効率性	高い								
区分	方向性(第-	⁻次) 改善·効率化	改善、効率化の内容	強化戦略	方向性(第二次)							
対象	給水需要者											
事	務事業目的	浄水場及び配水場に い安定給水を図ります		及び経過年数に応い	じて、計画的に施設の更新及	び耐震化を行						
事	務事業内容	浄水場及び配水場に 施します。	ついて、各施設の状況	及び経過年数に応い	じて、計画的に施設の更新及	び耐震化を実						
3	実施形態	直営										
	# A 16 12	施設等の故障による	断水等の発生件数									
	成果指標	令和元年度実績: 施設等の故障による断水等 0 件										
3	活動指標	(活動指標1)浄水場・配水場などの適正な管理のための更新などの件数										
		令和元年度実績: 鵜ノ木浄水場急速ろ過池、監視室棟等耐震化工事、堀兼浄水場No. 2 配水池改修工事等										
			事業コスト	·計算								
= 26:				_ , = 25 /\ LD = 1-		4.46 人						
	事業費予算額	538,823,000 円 R1 事務分担表による「事務に係る人数」 4.46										
事務:	事業費決算額	516,340,000 円 R2 事務分担表による「事務に係る人数」 3.64										
予定值	直			確定値								
直接	事業費	538	,823,000 円	直接事業費	516,34	40,000 円						
人件劉	貴	36	,761,122 円	人件費	29,434,511							
総額		575	,584,122 円	総額	545,7	74,511 円						
Ę	見直し実績	水道施設の更新及び		り、経済性を考慮し ⁻	て工法検討を行い工事を実施	色した。						
事	内部要因 外部要因)、安定的に安全、安心 水へのニーズが高まって		る体制が整っている							
務		安定給水を図るため、	老朽化した施設の更新	新や大規模な災害に	も対応しうる施設の耐震化力	が必要である。						
事	必要性											
業	効率性	各施設の老朽化及び 的かつ事業費の平準		ン、優先順位による頭	更新及び耐震化を実施するこ	とにより、計画						
評		コキ結キ 1月ポレウニ	小派に FD 安字的に	安全 安心かずの4	共給ができる体制を維持し、名	ないの流さ						
	≒榀かじさる14利を維持し、谷	が心設の過止										

事務	333107	老朽智										
事業	事業区分		実施計画事業	方	拖策体系		33120	安定的]な給水体制の確立			
- A	必要性		非常に高い		効率性		低し	١				
区分	方向性(第-	−次)	改善·効率化	改善、	効率化の内	容	改善戦	找略	方向性(第二次)			
対象	水道管								_			
事	事務事業目的		昭和40年代に布設された塩化ビニール管の老朽化が進行していることから、計画的に更新及び改良を行い、漏水の防止と耐震化を図り、より一層の安定給水に努めます。									
事	事務事業内容		ニール管や基幹 国収率の向上を関			画的に	耐震性を	有するダ	クタイル鋳鉄管に布設替える	を行い、安定給		
3	実施形態	直営										
		塩化は	ニール管のダクタ	タイル鋳	鉄管への改	良率						
,	成果指標	令和元年度実績: 34.56%										
;	舌動指標	(活動指標1)塩化ビニール管の更新延長 (活動指標2)塩化ビニール管の更新工事件数 令和元年度実績: 活動指標1:1967.4m 活動指標2:6件										
					事業	Iスト計	算					
古文石	5坐弗又答姑		4.6.4	CEO 0	ю П	Б	4 击败八	.+o == /-	トッ「市政に <i>はっ</i> し粉!	4.74		
	事業費予算額			650,0					よる「事務に係る人数」	4.74 人		
争伤	事業費決算額		391,	531,0	000円	K	2 争伤刀	担衣に	よる「事務に係る人数」	4.68 人		
予定值							定値		I			
	事業費								31,000 円			
人件習	į	39,068,995 円							<u> </u>			
総額			503,	718,9	95 円	総	額		429,3	75,371 円		
見	見直し実績	経験!! 化を進		ドバイス	を受けなが	ら技術の	D継承を行	テい、塩化	化ビニール管の更新及び基準	幹管路の耐震		
事	内部要因 外部要因		管の更新事業を ものための重要な				欠かせな	ر۱.				
務		耐震化	とすることにより、	安定給	含水が図れる	<u> </u>						
事	必要性											
業	効率性	コスト	縮減に努め、経	費削減	を図る。							
評		老朽智	管の更新は、安況	定給水	を確保するだ	ため、計	画的、総	と続的に	 実施していく。			
価	方向性	2131	_ ::=,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					_,,,,,				

方向性

事務	333108	危機管	宫理体制強化 專	 厚業								
事業	事業区分)	実施計画事業	1.	施策体系		333120	安定的	は給水体制の確立			
区分	必要性		非常に高い		効率性		高い	١				
四川	方向性(第-	-次)	改善·効率化	改善、	効率化の	内容	強化戦	略	方向性(第二次)			
対象	給水需要者											
事	務事業目的		等に備え、応急線 東を実施し、危村			-		、また、市	5民との協働による応急給な	火訓練など	どの防	
事	務事業内容		には応急給水拠 急給水訓練など(備されて	います。災害等に備え、市	民との協働	動によ	
3	実施形態	直営										
J.	成果指標	応急給水訓練等の実施件数										
		令和元年度実績: 応急給水訓練を9回実施										
ì	舌動指標	(活動	動指標1)緊急 動指標2)埼玉 元年度実績:	県企業	美局所管施	設又	は緊急貯水	槽以外0	D応急給水訓練への参加作	牛数		
					事業	コスト	·計算					
事務	事業費予算額			926,0	000 円]	R1 事務分	拍表に』	はる「事務に係る人数」	1.16	人	
	事業費決算額			755,0		_			はる「事務に係る人数」	1.13	人	
予定値	直						確定値			•		
直接事	事業費			926,0	000 円		直接事業費	i	7	55,000	円	
人件習	ŧ		9	,561,1	189 円		人件費		9,1	37,637	円	
総額			10	,487,1	189 円		総額		9,8	92,637	円	
見	退直し実績	状況分	分析と手法手段	の見直	しを検討し	た。						
事	内部要因 外部要因		寺における飲用/ 『時の飲用水や						整っている。			
務		応急網	 合水訓練を実施	し、危	機管理体制	制を強	食化する。					
事	必要性											
業	効率性	貯水村	曹の稼働確認と	、接続	機器を含め	た点	検の実施。					
評												
		引き網	たる、危機管理の	体制の引	強化に努め	る。						

方向性

める。

所属 上下水道部 水道施設課

事務	333112		 対策事業									
事労事業			実施計画事業	施策体系		333130	経営其	般の強化				
于本	必要性		非常に高い	効率性		 低い		一一一一				
区分	方向性(第-			改善、効率化の	内容			方向性(第二次)				
対象	水道管	1747	WE W+10	ж <u>а</u> (77) — 100)	.,,,	UA D TA	V-H	731-311 (35-04)				
事	務事業目的			計画的に実施す			漏水修	繕を行い、二次災害の防止	上や老朽管更			
事務事業内容		漏水調査は市内全域をブロック化し計画的に行い、道路下に埋設された配水管及び各戸の水道メーターまでの給水装置について音聴調査を実施し、早期に漏水を発見し修繕を行います。										
3	実施形態	直営·	·委託									
J:	成果指標	漏水箇所の確認件数に対する修繕件数の割合										
ž	舌動指標	令和元年度実績: 100% (活動指標1)漏水調査件数										
		令和元年度実績: <mark>5,100件</mark>										
				事業	コスト	計算						
主殺国	事業費予算額		6	,028,000 円	7 [D1 重整分	担実によ	る「事務に係る人数」	2.10 人			
	事業費決算額			,850,000 円	-			る「事務に係る人数」	1.25 人			
予定値						確定値	<u></u>	OI TIME IN OVER 1	1123			
	単 事業費		6	,028,000 円		唯足他 直接事業費	i	3.8	50,000 円			
-/ 人件書				,309,048 円	-	人件費	-	·	08,005 円			
総額	•			,337,048 円	-	<u>~…</u> 総額			58,005 円			
見	退直し実績							迷承を積極的に行った。				
事	内部要因 外部要因	管工事組合や施設管理委託業者等との連携による災害時や漏水対応への体制が整っている。 生活のための重要なライフラインとしての役割が欠かせない。										
務 漏水を早期に発見し、修繕することにより二次災害の防止及び有収率の向 必要性							又率の向上が図れる。					
業	効率性	漏水位	の早期発見により	の、二次災害の防	立止が図	上が図れると共に老朽管の更新を計画的に進められる。						
評		漏水	調査は、道路陥		の向上	_に必要な手	法である	ことから継続的に実施する	。 。また、将来			

わたり有収率の向上を図るため、調査技術を継承するとともに、民間企業との連携による効率的な調査に努